九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

九州大学附属図書館付設 記録資料館 産業経済資料部門所蔵 明治鉱業株式会社 豊国鉱業所資料仮目録について

岩熊, 真実
糸田町教育委員会

上田, 勝治
糸田町教育委員会

https://doi.org/10.15017/10150

出版情報：エネルギー史研究 : 石炭を中心として. 23, pp.65-90, 2008-03-28. 九州大学附属図書館付設記録資料館産業経済資料部門
バージョン：
権利関係：

KYUSHU UNIVERSITY

【資料紹介】

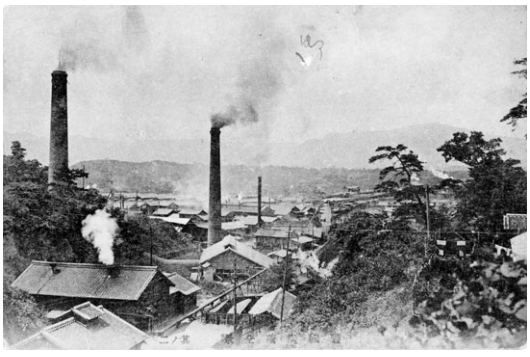
九州大学附属図書館付設　記録資料館　産業経済資料部門所蔵
明治鉱業株式会社　豊国鉱業所資料仮目録について

糸田町教育委員会　教務課
文化財担当　岩熊真実
糸田町町民会館館長　上田勝治

Ⅰ．はじめに

一．仮目録作成までの経緯

九州大学附属図書館付設　記録資料館　産業経済資料部門所蔵明治鉱業株式会社　豊国鉱業所資料仮目録作成の経緯については、以前より九州大学記録資料館　産業経済資料部門に豊国炭鉱の資料があるとの情報があったが、糸田町教育委員会では資料の確認及び調査はしていなかった。そこで、田川地域の石炭産業関係の情報を集約している田川市石炭・歴史博物館に問い合わせたところ、色々資料があると話は聞いたことがあるが確認したことはないとのことだったので、田川市石炭・歴史博物館　館長　安藤龍生氏、同博物館学芸員　福本　寛氏および糸田町教育委員会　教務課　岩熊　真実が、平成一九年六月五日の日に九州大学を訪問し、炭鉱関係資料の確認をさせて頂くようにした。



大正末期の明治豊国炭坑絵葉書

当日は、記録資料館の三輪宗弘教授及び三浦　壮助教に対応していただき、まず、目録等の閲覧による資料の検索をし、収蔵庫等で資料を確認したところ糸田町内所在の豊国炭鉱の資料がダンボール六箱　旧赤池町（現福智町）の明治豊国関係の資料が二箱確認することができた。しかし平成一九年一〇月には収蔵庫が引っ越しをするので当分閲覧不能になるとのことで、資料の内容調査を急ぐ必要性があると感じその日の調査を終了した。

その後、糸田町教育委員会は糸田町に所在した明治鉱業株式会社　豊国鉱業所資料の内容確認するために九州大学記録資料館においてダンボール六箱分の調査を平成一九年七月六日におこなった。

これらの資料は、ダンボール六箱とはいえ資料としては大量であり、現在の糸田町にはほとんど存在しない貴重な資料群であることから、資料調査の必要があると判断し仮目録の作成と同時に資料の内容について、当時の糸田町の状況と符合するかどうかを確認していくこととした。

仮目録の作成のための資料番号及び表題の記録を岩熊が担当し、以前より、糸田町で実施している「くらしの大学講座」の中で実施した糸田町の炭鉱の聞き取り等による当時の町並みの状態と一致しているかを糸田町町民会館 館長上田勝治が資料の内容を確認しつつ調査を実施した。

なお、仮目録の作成にあたって、下記の方々にご指導・ご協力をいただいた。記して謝意を表したい。田川市石炭・歴史博物館 館長 安蘓龍生先生、同博物館学芸員 福本 寛氏、香春町教育委員会 野村 憲一氏、糸田町文化財専門委員会 会長 仲江 健治氏、山上 道記氏 その他関係の皆様方に感謝もうしあげる。

Ⅱ. 位置と環境

一. 概 要

糸田町は、平成一九年九月末現在約人口一〇、三〇〇人面積約八・〇四平方キロメートルの小さな町で、田川盆地の北西部にあり福岡県のほぼ中央部に位置し、北西に日王山、西には、福岡より行橋までつながる国道二〇一号線の烏尾峠、南は、金国山及び金国山地を境いとして飯塚市と接している。東には遠く香春岳を望むことが出来る。

町の文化財については、金村神社において「田植祭」が毎年三月一五日に、また全町をあげて毎年五月に「糸田祇園祭」が盛大に行なわれている。これらは、町指定無形民俗文化財に指定されている。

また、弥生時代の遺跡等についても以前報告されている松ヶ迫遺跡や宮山遺跡が代表的な遺跡であり、他にも町内から大量の銅戈の出土がありこの地域の遺跡の特徴として考えられる。古墳時代の代表として松ヶ迫一・二号古墳や指定文化財になっている岩屋古墳がある。中世には、同じく松ヶ迫遺跡より青磁が出土した付近に、豊前国守護糸田貞義の城があったという話も残っている。

江戸時代では、糸田町は小笠原藩の金田手永に属していた。田川郡では寛永以降、猪膝・添田・糒・伊田・金田・上野の六手永になっている。この中の金田手永に所属する（中元寺下流域）村は、元和八（一六二二）には、後藤寺・宮尾・河原弓削田・宮尾弓削田・宮尾弓削田新田・西弓削田・糸田・糸田新町（大熊）の八ヶ村、明治二（一八六九）年には後藤寺・宮尾・河原弓削田・上弓削田・下弓削田・見立・鼠ヶ池・上糸田・中糸田・下糸田・宮床・大熊・金田の一三ヶ村に変化していく。この金田手永の資料については、「六角家文書」という現資料とカード目録が九州大学記録資料館九州文化史資料部門に保管されている。その後、明治初期に、何回か村域が改編されるが、明治二〇（一八八七）年に糸田村・大熊村・鼠ヶ池村が合併して糸田村となり、さらに明治四〇年一月一日に宮床が糸田村に合併され糸田村となった。宮床については、これ以前は弓削田村の一部であり、明治四〇年四月一日に後藤寺村と合併する直前に糸田村と合併している。その後、昭和一四年一月一日町村制の施行により糸田町が誕生した。

二．糸田町の炭鉱について

糸田町ではかつて大小六〇近くの炭鉱があったにもかかわらず資料についてはほとんど地元には残されていない。そこで、昭和六四年に編纂された『糸田町史』が唯一の資料になっているので、この町史に準拠して紹介したい。

糸田町に所在した炭鉱については、現在確認できる古い資料の一つとして「六角家文書」（資料番号・六角一四―一～三）の田川郡銀小物成鑑に石間歩（鉱山税）を納めていたことが記入されており、この資料が作成された元禄六年（一六九三年）には、石炭が採掘されていたことをうかがえる。(1)

また、明治九年には片山逸太(2)と早川岩次郎(3)（弁城村・現在の福智町）が「糸田村の東方四丁字飛掛付近」（現在の町民グランド付近）にかなりの規模で採掘を始めたが、ここで初めて日本人の手による（外国の技師による導入は以前よりあった）機械による排水実験をおこなった。結果は残念ながら失敗に終るが、その後の炭鉱での機械化促進の為の重要な実験であった。(4)

また、明治一一年に三池炭鉱にいた英人技師ポッター（Frederick Antony Potter）(5)がまとめた「ポッター報告書」には、糸田町において、機械を備えて廃業している炭鉱を見た事が次のように書かれている。

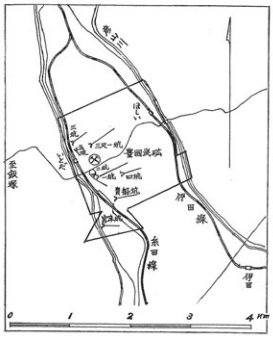
「糸田石炭坑、此坑は平坦なる稲田中に於て許多の数坑を開けり、坑口に細弱の『テーポップ』と般海蒸汽の小汽缶を備へたるもの、又甚小なる復『テーポップ』筒状の小汽缶『タフルプランチポンプ』及び『スチムウインチ』等を備えたるもの、各一坑を見たり、然共現今は大概廃業に属す。(6)」

また翌一二年一〇月三日には、山本貴三郎(7)が宮床村（現糸田町）に五万二千九八六坪の借区許可を受け炭鉱を始める。これが糸田町最大の炭鉱である豊国炭鉱の前身となる。その後、金田炭鉱本坑が明治二四年に開抗し、昭和七年には、旭炭抗を岡崎林平(8)が買収し、真岡炭鉱が始まる。糸田町の大小炭鉱の変遷については別表にまとめた。(9)

三．糸田町における諸炭鉱の位置と鉱区について

糸田町内の炭鉱の位置については、現在、糸田町史において五〇坑の位置が確認できる。また税務課所有の字図については昭和三四年の糸田町炭鉱終末期の町内地図を利用し字図を作成しているためかなりの炭鉱の位置を確認できるが、町内炭鉱の全部の位置や変遷を知るまでにはいたらない。炭鉱位置の略図については、糸田町全図・糸田町字図の通りである。(10)

町域にはこれだけの炭鉱があるにもかかわらず、鉱区がわかるのは、豊国炭鉱のみで左記の図面で確認できる。(11)ただし今回の仮目録作成時に、豊国炭鉱鉱区変遷図(12)及び観世音炭鉱(13)、籾井炭鉱(14)の鉱区図を見つける

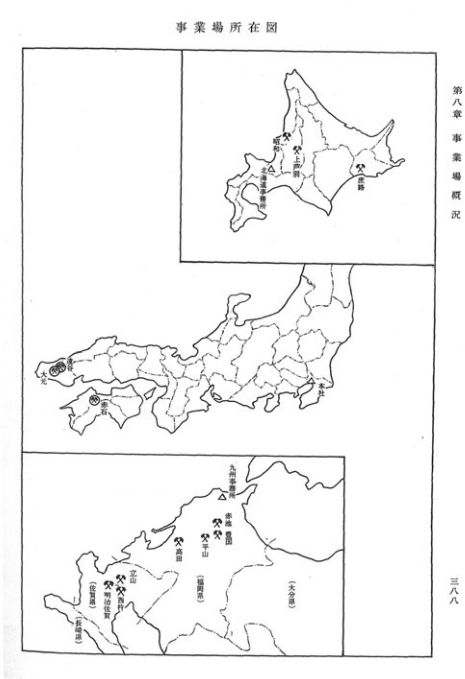


明治豊国炭坑鉱区図『社史 明治鉱業株式会社』より抜粋

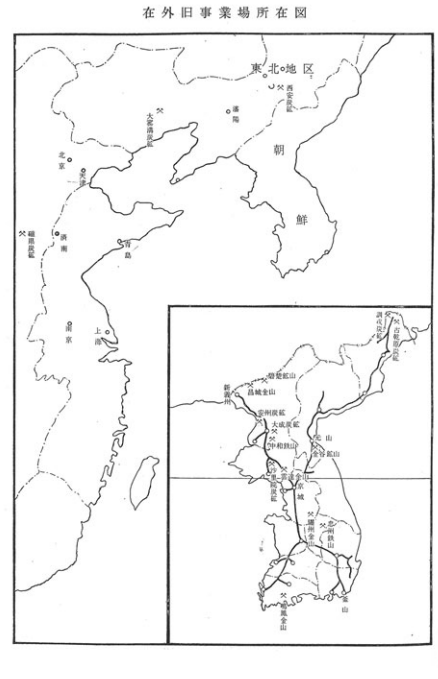
明治豊国炭坑航空写真（田中正勝氏所蔵）

ことができた。

今後もこの様に資料が整理されることによってよりくわしく糸田町の歴史がわかる様になると考える。



明治豊国鉱業所　事業場所在図



明治豊国鉱業所　在外旧事業所在図

『社史 明治鉱業株式会社』より抜粋

註

（1）『糸田町史』「第三編郷土のすがた 第三章産業経済 第二節鉱業 一石炭 五昔の石炭利用の記録 （六）六角家の文書」六〇四～〇五頁

「三郷土の炭坑 一糸田の炭坑のはじまり」六一四頁

現物については、九州大学附属図書館付設記録資料館 九州文化史部門所蔵の「六角家文書」資料番号一四－一～三

（2）片山逸太（一八三八？～一九一七・一二・五）大分県出身、一八歳で長崎の造船所に入る、このとき桂小五郎や後藤象次郎と交友があり、これらの人々と一緒に外国人より海外の事情を学ぶ。その後、長崎築町に住居を構え、造船所勤務の傍ら精米所を設けている。明治四（一八七一）年長崎港外香焼炭坑を開くが、半ばで休業し、その後に端島炭坑において排水が困難なため事業を廃止しようとしていたところ、片山逸太が炭坑の機械を整備して炭坑の経営を継続させている。そのほかにも、田川郡神田村神崎の薬司炭坑・小松浦坑・豊州炭坑の経営に関係している。

『筑豊炭礦史』高野江基太郎 明治三一年 六九五～九七頁

（3）早川岩次郎 文政四（一八二一）年に代々弁城村庄屋勤めていた早川庄九郎の次男として出生した。炭坑事業のほかにもハゼの実の売買や酒造業等も営んでおり、これらの資金をもって炭坑企業人として活躍している。最初に手がけた炭坑として赤池村の坊主ヶ谷、神崎村の林ヶ谷の間歩を開発しており、その後、糸田村宮床飛掛の鉱山開発に着手している。

また、これらの関係の古文書は「早川文書」として現在福岡県立図書館が保存している。この中で特に関係があると思われる古文書は「蒸気揚水機械諸控帳」や「糸田村における借区開坑願」等があげられる。目録については、『福岡県古文書等緊急調査報告書 田川市・田川郡』一九八四 福岡県立図書館 二一八～三二頁『筑豊産炭地域資料調査－福岡県古文書等緊急調査報告書－』一九八五福岡県教育委員会 二一八～二〇頁に

それぞれ掲載されている。

『方城町と炭坑』方城町教育委員会・方城町文化財専門委員会　平成六年六月六六～九五頁

（4）『前掲』「第三編郷土のすがた　第三章産業経済　第二節鉱業　三郷土の炭坑　一糸田の炭坑のはじまり」六一四頁

『筑豊石炭礦業史年表』明治八　（一八七五）年一〇〇頁

（5）英人技師ポッター（Frederick Antony Potter）英人鉱山土木師フレデリック・アントニー・ポッターの経歴については、大部分が不明である。ポッターの三池炭坑における雇用期間は明治九（一八七六）年七月より明治一五（一八八二）年六月までの六年間で、三池炭鉱に到着したのは明治九（一八七六）年八月二二日であった。ここにある「ポッター報告書」は、明治一一（一八七八）年五月九日より二五日に福岡県令に依頼を受けて、筑豊炭田を調査し報告したものである。

『世界史のなかの明治維新―外国人の視点から―』「三池炭坑と雇英人ポッター」一六九頁～九八頁

『明治前期財政経済資料集成　第十七巻』「工部省沿革報告」九八　頁一〇六～一七頁

（6）『前掲』「第三編郷土のすがた　第三章産業経済　第二節鉱業　三郷土の炭坑　一糸田の炭坑のはじまり」六一五頁

『筑豊石炭礦業史年表』明治一〇（一八七七）年・明治一一（一八七八）年一一三頁（昭和三二年、非売品）

（7）山本貴三郎　佐賀県諫早出身、佐賀藩家臣、幼少時は熊本で勉強し、その後長崎へ遊学している。その後肥前平戸や松島において炭坑事業に携わるが失敗、その後、糸田の明治豊国炭坑の基礎を作る。

『筑豊炭礦史』高野江基太郎　明治三二年　七一九～二二頁

（8）岡崎林平　一九〇二・一・一三～一九八〇・一一・三　岡山県森下町に生まれる。昭和二（一九二七）年慶応大学経済学部を卒業後、同年、中国製紙株式会社取締役に就任。昭和九（一九三四）年に糸田町の炭坑である岡崎共同株式会社の取締役に就任、昭和二六（一九五一）年には糸田町町長に当選一期勤める。その後も福岡県教育長等を務め、昭和三五（一九六〇）年に岡山へ帰る。その後も、岡山県教育長や岡山瓦斯株式会社取締役などを勤める。また若いときから短歌のアララギ派に属し、歌集『炭塵』『寂心抄』がある。美術愛好家としても知られている。

『岡山県人名鑑』山陽新聞

（9）この別表については、『糸田町史』「第三編郷土のすがた　第三章産業経済　第二節鉱業　三郷土の炭坑　三糸田の諸炭坑」をまとめたもの。

（10）『前掲』「第三編郷土のすがた　第三章産業経済　第二節鉱業　三郷土の炭坑　三糸田の諸炭坑」　糸田町炭坑跡図六二五頁

（11）『前掲』「第三編郷土のすがた　第三章産業経済　第二節鉱業　四豊田炭鉱三豊国鉱業所の概況」六三二頁

『社史　明治鉱業株式会社』「第八章事業場概況　豊国鉱業所」四〇一頁

（12）九州大学附属図書館付設記録資料館　産業経済資料部門所蔵　資料番号一三九―九―一

（13）九州大学附属図書館付設記録資料館　産業経済資料部門所蔵　資料番号一四〇―六―一～一四〇―一〇―二

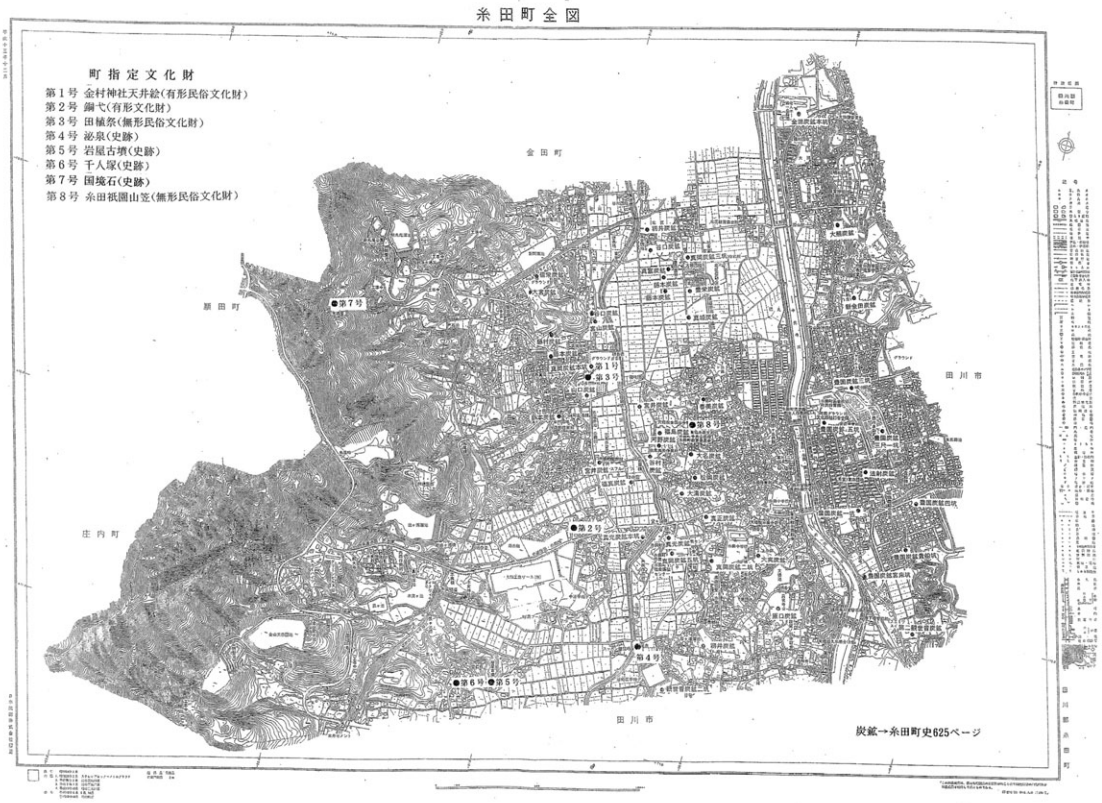
（14）九州大学附属図書館付設記録資料館　産業経済資料部門所蔵　資料番号一一七・一四〇―二・一四〇―三―一～二

参考文献

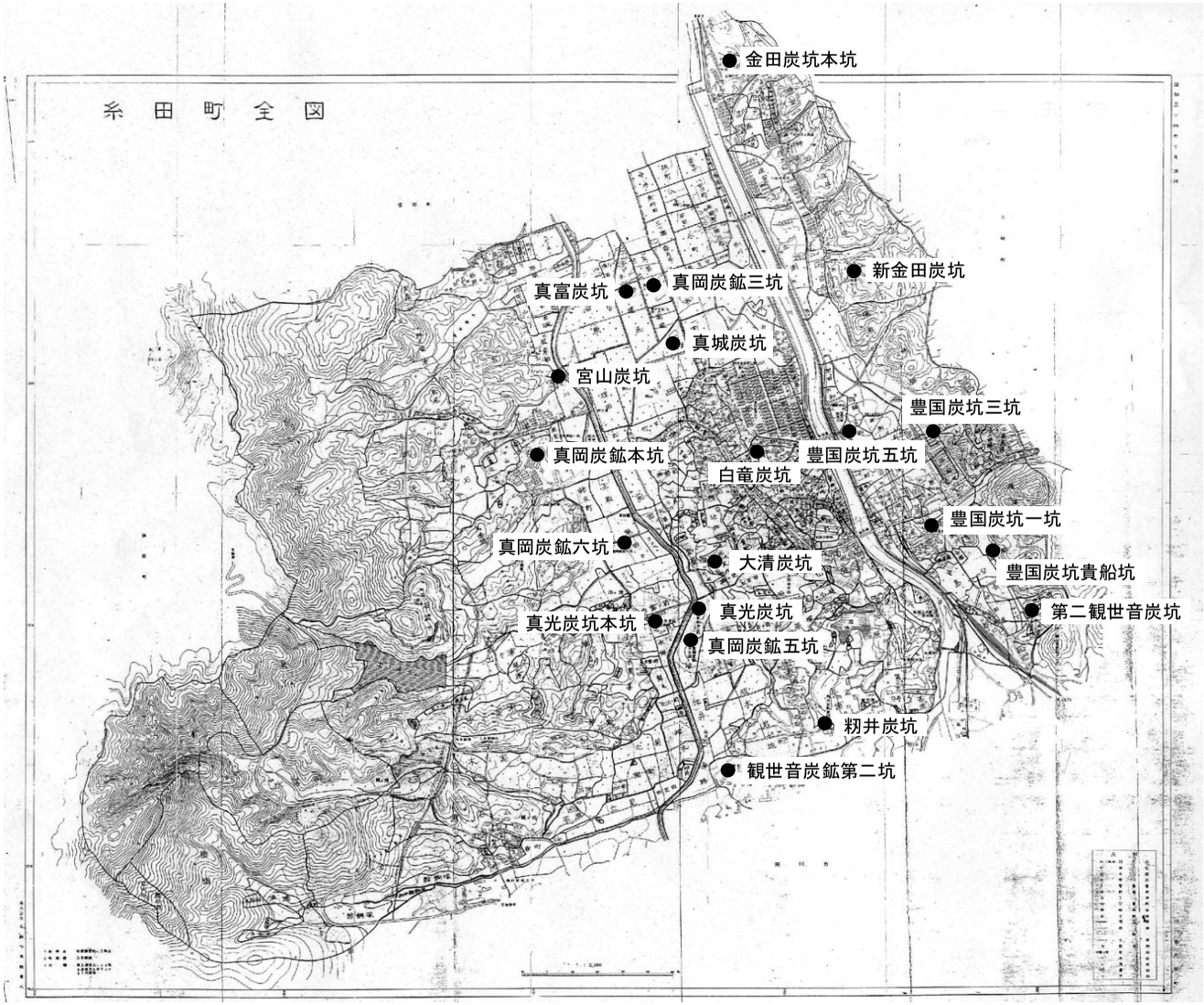
『糸田町史』昭和六四年一月一日発行　発行　糸田町編集糸田町史編集委員会　印刷　株式会社ぎょうせい

『方城町史』昭和四四年五月一日発行　発行者　方城町　印刷所　太平印刷株式会社

『社史　明治鉱業株式会社』昭和三二年五月一二日発行　発行所　明治鉱業株式会社　印刷所　凸版印刷株式会社
『筑豊石炭礦業史年表』昭和四八年一一月三〇日発行　発行所　田川郷土研究会　代表者　星野重一　編纂者　筑豊石炭礦業史年表編纂委員会　印刷所　株式会社一文字印刷
『世界史のなかの明治維新―外国人の視点から―』坂田吉雄、吉田光邦編　昭和四八年二月一五日発行　発行者京都大学人文科学研究所　印刷者　株式会社図書印刷　同朋舎
『明治前期財政経済史料集成』編者　大内兵衛　土屋喬雄編　昭和六年九月三〇日発行　印刷所　改造社
『方城町と炭坑』方城町教育委員会・方城町文化財専門委員会　平成六年六月
『筑豊炭礦史』高野江基太郎　明治三一年
『岡山県人名鑑』山陽新聞
『福岡県古文書等緊急調査報告書　田川市・田川郡』一九八四　福岡県立図書館
『筑豊産炭地域資料調査―福岡県古文書等緊急調査報告書―』一九八五福岡県教育委員会
『松ヶ迫遺跡』糸田町文化財調査報告書第一集一九八〇糸田町教育委員会
『松ヶ迫二号墳』糸田町文化財調査報告書第二集一九八二糸田町教育委員会
『宮山遺跡付古賀ノ峯遺跡出土銅戈』糸田町文化財調査報告書第三集一九九八　糸田町教育委員会
『糸田町内遺跡等詳細分布調査報告書』付糸田町中央公民館所蔵遺物二〇〇〇　糸田町教育委員会

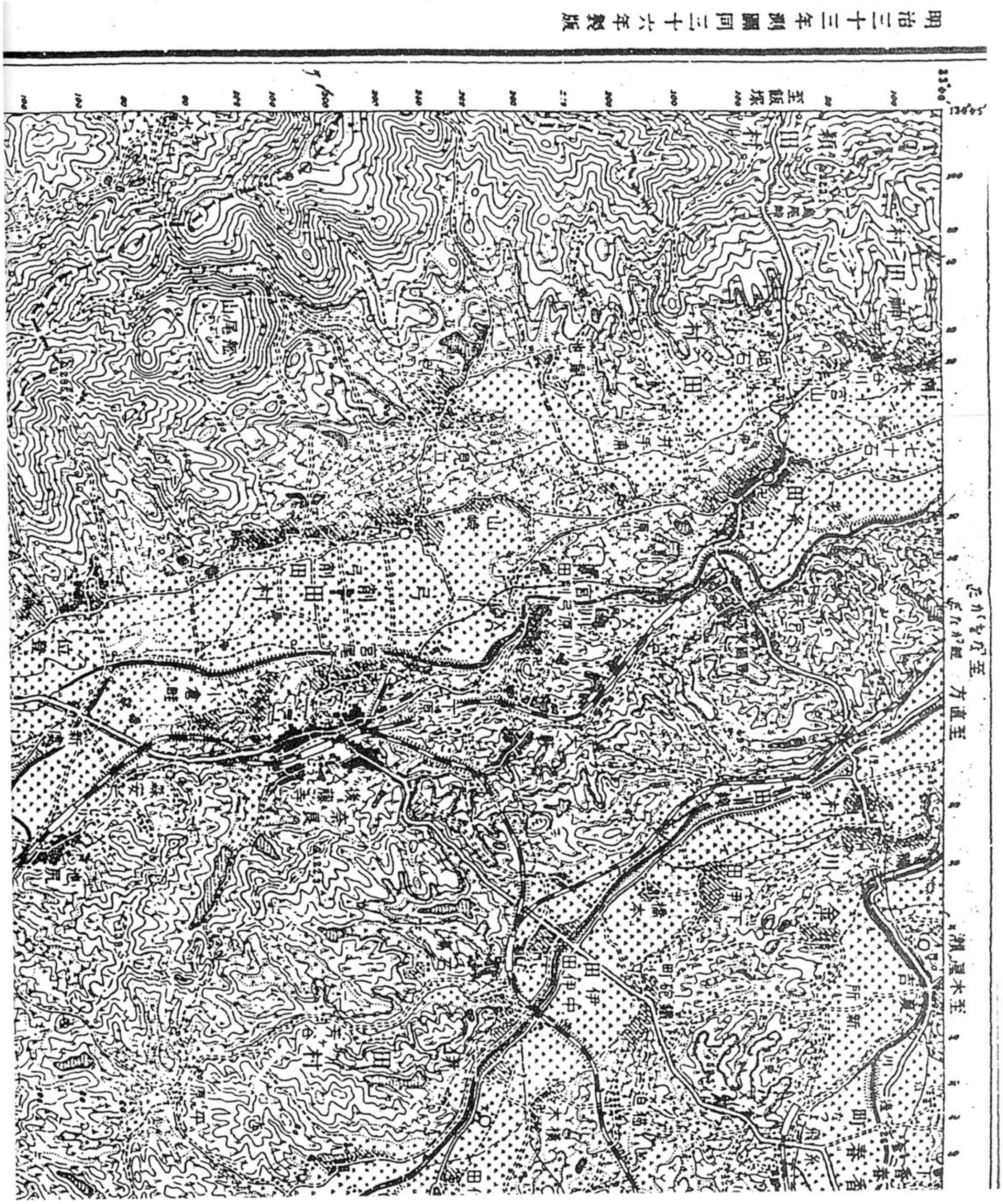


糸田町全図　平成十三年十二月作成　山上道記氏作成

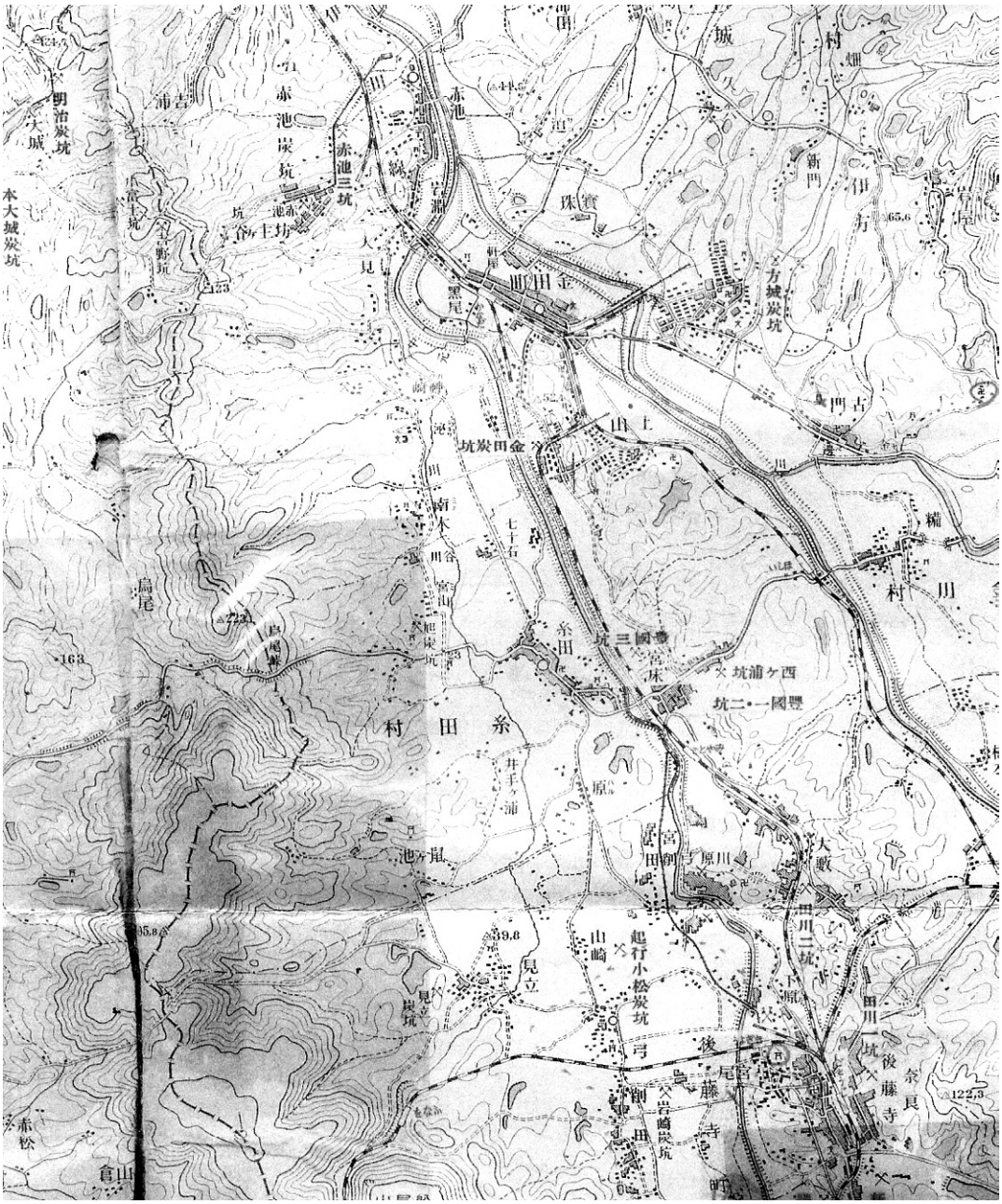


糸田町字図　糸田町税務課所管

※昭和34年に地図上で確認出来る炭坑。



明治33年測量糸田周辺地図（国土地理院所蔵）



地形図　昭和10年製　田川市立図書館所蔵

(ア)－１　糸田町の諸炭坑１（開坑の記録があるもの）

	炭　鉱　名	経営企業・経営者	開　坑　年	閉　坑　年	備　　考
1	豊国炭鉱第１坑	明治鉱業㈱	明治17年 （明治39年？）	昭和35年閉山	宮床字屋敷
2	法射炭鉱	鉱長不詳	明治19年		法射（昭和38年には存在しなかった。）
3	糸田炭鉱	鉱長 磯野小右衛門	明治23年		（昭和38年には存在しなかった。）
4	金田炭鉱本鉱	三菱鉱業㈱ 樋口鉱業㈱	明治24年		水付
5	鼠ヶ池炭鉱試掘	鉱長不詳	明治26年		場所不明
6	豊国炭鉱ニ坑	明治鉱業㈱	明治42年	昭和35年閉山	（田川市）
7	豊国炭鉱三坑	明治鉱業㈱	大正７年	昭和26年	仏膝
8	豊国炭鉱西ヶ浦鉱	明治鉱業㈱	昭和８年	昭和13年以降閉鎖	（田川市）
9	豊国炭鉱三尺一坑	明治鉱業㈱	昭和10年	昭和35年閉山	仏膝
10	豊国炭鉱貴船坑	明治鉱業㈱	昭和13年	々	貴船
11	豊国炭鉱新三坑	明治鉱業㈱	昭和13年	々	糸田橋の東に所在
12	豊国炭鉱四坑	明治鉱業㈱	昭和14年	々	糒道
13	豊国炭鉱五坑	明治鉱業㈱	昭和23年	昭和27年	穴町
14	観世音鉱ニ坑	鉱長 藤本巧	昭和23年		出ヶ浦平池ダム付近に所在
15	真岡炭坑五坑	岡崎共同㈱	昭和23年	昭和34年	中塚

出所：『糸田町史』 617～26頁より作成。

(ア)－２　糸田町の諸炭坑２（閉坑の記録があるもの）

	炭　鉱　名	経営企業・経営者	閉　坑　年	備　　考
1	豊国炭坑横島坑	明治鉱業㈱	昭和15年	（田川市）
2	第二観世音炭坑	鉱主 藤本巧	昭和26年	宮床山
3	大実炭坑	鉱長 早麻薫	昭和29年	小堤
4	真岡炭坑本坑	岡崎共同㈱	昭和33年	真岡新町
5	真岡炭鉱二坑	岡崎共同㈱	昭和33年	原
6	真岡炭鉱三坑	岡崎共同㈱	昭和33年	大苗
7	真光炭坑本坑	鉱長 藤村定光	昭和34年	古賀ノ前
8	豊国炭坑宮床坑	明治鉱業㈱	昭和35年	伊田道
9	新金田炭坑	福菱鉱業㈱	昭和36年	片又
10	春美炭坑	鉱長 古藤甚太郎	昭和38年	打越
11	大熊炭坑	桑野組	昭和41年	山王平

出所：『糸田町史』 617～26頁より作成。

(ア)－３　糸田町の諸炭坑３（開坑年・閉坑年が不明なもの）

	炭　坑　名	経営企業・経営者	備　考
1	籾井炭鉱	鉱長 籾井敏雄	原　註１
2	原口炭鉱	鉱長 原口元六	原 真光寺公園
3	真光炭鉱二坑	鉱長 藤村定光	中塚　註２
4	真正炭鉱	鉱長 森下正	原
5	大清炭鉱（将監炭鉱）	鉱長 山口清	井ノ尻
6	松岡炭鉱	鉱長 松岡力太郎	辻畑
7	大名炭鉱	鉱長 山口清太郎	久保園
8	河野炭鉱	鉱長不明	堂籠
9	谷村炭鉱	鉱長 谷村鉄治・伊藤千次	前田
10	福島炭鉱	鉱長 福島富蔵	前田
11	宮井炭鉱	鉱長 宮井清	松ヶ本
12	白童炭鉱	鉱長 畑（名前不詳）	四郎丸
13	真城炭鉱	鉱長 長谷川博治	一町田
14	藤本炭鉱	鉱長不明	堤尻　註３
15	藤本炭鉱	鉱長 藤本多一郎	堤尻　註３
16	豊栄炭鉱	鉱長 井手元正行	嶋ヶ本
17	真冨炭鉱	鉱長 井手元富次郎	松ヶ本
18	谷口炭鉱	鉱長 谷口市太郎	吉原　註４
19	籾井炭鉱	鉱長 籾井敏雄	吉原　註１
20	某炭鉱（炭鉱名不明）	鉱長不明	位置のみがわかっている。岩ヶ迫
21	糸田鉱業	鉱長不明	場所不明
22	信栄炭鉱	鉱長 谷口信夫	宮山
23	大宮炭鉱	鉱長不明	宮山
24	谷口炭鉱	鉱長 谷口市太郎	宮山　註４
25	宮山炭鉱	鉱長 山口清	宮山
26	藤村炭鉱	鉱長 藤村勝由	宮山
27	藤本炭鉱	鉱長 藤本多一郎	材木
28	山口炭鉱	鉱長 山口清太郎	金村
29	宮井炭鉱	鉱長 宮井（名前不明）	金村
30	藤本炭鉱	鉱長 藤本利夫	金村
31	福真炭鉱	鉱長 福島富蔵	無田々
32	某炭鉱（炭鉱名不明）	鉱長不明	烏尾

註１　炭坑名籾井炭鉱（番号１・19）については経営者については同一だが、炭坑の場所が違うため別々に番号をとった。

註２　真光炭鉱二坑については、本坑は昭和33年に閉山しているが古洞より出水とありその年が不明なためこの表にいれた。

註３　炭坑名藤本炭鉱（番号14・15）については少しだけ場所が違うため別々に番号をとっている。番号14については『糸田町史』に「鉱長不明」との記載があったためそれに従った。尚、30番の藤本炭鉱については経営者、場所共違うので別に記載している。

註４　炭坑名谷口炭鉱（番号18・24）については経営者については同一だが炭坑の場所が違うため別々に番号をとった。

出所：『糸田町史』617～26頁より作成。

(イ)－１　糸田の明治期の炭坑年表（1)

年代	炭坑名又は所在地	所有者	世話方
明治４	(糸田の）梅ノ木坑	伊藤久次郎	長尾秀造（28歳　糸田出身）
明治５	(宮床の）庄屋殿山	里正某	久勢弥七（糒村出身）４年
明治６	(糸田の）御山坑		長尾秀造 半年
明治７	(糸田村）風袋坑		長尾秀造　３年
明治８	(金田の宮床の）炭坑		芳賀庄十（遠賀郡長津村出身）
明治９	(糸田の）原坑		久勢弥七（糒村出身）２年
明治９	(糸田の日蔭の）片山坑		山本政右衛門（糸田出身）
明治10	早川岩次郎坑		長尾秀造　１年
明治12	豊国炭坑		寒竹伊作（黒崎出身）副頭領、松岡陸平が大頭領。松岡の後を継ぎ大頭領
明治15	糸田の原		林彦三（遠賀郡出身）炭坑顔役、原では大納屋大頭領
明治15	片山逸太の炭坑		角脇治作（27歳、糸田出身）頭領
明治19	豊国坑		松岡陸平（上野村市場出身）
明治19	早川坑		山本政右衛門（糸田出身）
明治20	糸田坑		安川平三郎（嘉穂郡桂川出身）坑夫３年　納屋頭３年
明治21	早川坑		長尾秀造　７年
明治21	糸田の山		日高芳右衛門（糸田出身）納屋頭３年
明治24	豊国炭坑		小石藤三郎（嘉穂郡鯰田出身）

出所：『田川市史』中巻（「頭領伝」児玉音松 M35.4）より作成。
仲江健治氏作成

(イ)－２　糸田の明治期の炭坑年表（2)

年　代	炭坑名又は所在地	所有者	世話方	出　来　事
明治４年	梅ノ木坑	伊藤久次郎	長尾秀造	
明治５年７月				明治５年７月（田川市史中巻『世良家文書』『六角家文書』） 大熊村小船４。上糸田村小船１。中糸田村小船２。下糸田村小船６。小船：10石積・長５間、横１間
明治６年１月	大熊村片又	長副喜三郎		大熊村片又の石炭採掘を出願
	上糸田村	荒田伝七		上糸田村の荒田伝七、同村の石炭採掘を出願
	上糸田村	長尾弥三郎(中糸田)		中糸田村長長尾弥三郎、上糸田村の石炭採掘を出願
明治６年５月18日				田川郡大小川船積石数税金書上 大熊村積石67石税金30銭５厘 下糸田村積石87石税金47銭５厘 中糸田村積石34石税金17銭 上糸田村積石16石税金８銭
明治６年８月				大小川船書上 大熊村　小船４ 下糸田村　小船６ 上糸田村　小船２
明治６年11月17日	大熊村片山石炭山	長副喜三郎		大熊村片山石炭山１ヶ所にて従前より所持の器械で採掘の旨申出る

明治６年11月	中糸田村	大塚壮六・森下徳一		中糸田村の大塚壮六・森下徳市、森下徳市所持の田地の石炭採掘を出願
明治６年	中糸田村	長尾弥三郎		中糸田村の長副伝七所持の田地に同村長長尾弥三郎が石炭採掘を出願
明治７年６月15日	宮床村中島外３字1,941坪	伊藤利八良		伊藤利八良　借区許可を受ける（明治14年４月禁止）
明治８年12月	糸田村飛掛石炭坑	早川岩次郎		長崎の人片山逸太の協力を得て、飛掛石炭坑に蒸気水揚器導入に着手（翌年運転を行ったが失敗）貝島太助糸田坑の頭領大玉五兵衛と争って田川を去る。
明治９年２月１日	宮床村石炭山	早川岩二		宮床村石炭山入用の鉄製組立の人力巻上器械一式（一昼夜3500石揚水）の納入契約を長崎の四ッ本計吉と定約
明治10年５月18日	糸田村飛掛ヶ			片山逸太（多）糸田村飛掛ヶに4,160坪の借区許可わ受ける（明治16年２月３日廃業）
明治10年５月18日	糸田村飛掛ヶ			弁城村早川岩次郎　糸田村字糸田村飛掛ヶ2,727坪の借区許可を受け、同月石炭坑開業(明治10年７月～同14年６月まで休業)
明治10年６月25日				中原屋へ大阪駐在員より、糸田の機械掘石炭は人気悪く買人なき旨報告。
明治11年	宮床	山本貴三郎		肥前諫早の山本貴三郎、田川の弓削田、宮床、糒、糸田、大熊、金田の各村に一村100円宛を交付して借区出願の了解を得る。
明治12年				山本貴三郎、宮床村福迫外７字に52,986坪の借区許可を得る。
明治18年１月	豊国炭坑			コルニッシュ汽罐採用、以後各坑に蒸気機関を採用。坑内排水にスペシャルポンプ採用。捲揚機設置など機械化大いに進む。ダイナマイト発破法を使用、この方面でも先鞭をつく。
明治20年	豊国炭坑			豊国炭坑　斜坑運搬コース捲機を使用。
明治21年				農商務省　福岡県内の海軍予備炭山指定区域　田川郡：大熊　糒　糸田　宮床　後藤寺、弓削田　６ヶ村
明治22年１月				海軍予備炭田開放運動、坑業組合　石野総長状況、随行者：久良知、安川、麻生、杉山、許斐、行実ら坑主総代と県知事も上京。
明治22年２月				中原屋、海軍予備炭田解放を見越し、大隈村、宮床村、糒村、糸田村、中伊田村、伊加利村の借区を交渉。
明治22年３月３日				海軍予備炭田解除の報、東京より中原屋へ入電
明治22年				筑豊主要炭坑（200万斤以上）飛掛
明治22年４月				田川郡海軍予備炭田の一部解放　田川郡では６ヶ村が解除され、代わりに伊田、伊加利の２ヶ村が閉鎖。
明治23年４月	糸田炭坑	磯野小右衛門		糸田炭坑開坑　資本金５万円、職工12人、蒸気機関３台、16馬力
明治23年	豊国炭坑			豊国炭坑　筑豊で初めてチャンピオン指揮扇風機（幅６尺、経８尺）
明治23年	田川採炭組			田川採炭の運炭：各坑から中元寺沿岸を宮床まで里余の通路に厚板を敷きこれらに軌道を敷設、簡易軽便鉄道として馬力で運搬、宮床から小型川ひらたに積み替えて中元寺川を下る。
明治24年	鼠ヶ池炭坑			田川郡弓削田村見立、試掘、炭層も厚く良質炭の見込。
明治24年	伊田・伊加利両村			農商務省　海軍予備炭田の伊田、伊加利両村を解放、同時に鞍手郡御徳、糟屋郡新原を除く県下予備炭田もすべて開放。

明治24年７月				遠賀川流域の大洪水による炭坑災害、田川郡峰地炭坑は貯炭200万斤流失、ポンプ鉄管水没し当分休業。豊国炭坑は坑内大破損。
明治25年				筑豊一等炭：豊国　田川採炭組　金田　峰地の塊炭１t２円20銭　大之浦、赤池１円80銭　目尾１円60銭　香月、金剛１円30銭＞
明治26年３月				田川採炭、豊国炭坑が三井物産と鉄道庁納入の炭量を契約、両坑共840万斤　納入期間　'93.4～94.1
明治26年11月				若松港への石炭輸送方法 川ひらた・鉄道併用　豊国、三菱鯰田、勝野、赤池、峰地、田川採炭、目尾、金田、第二大之浦、直方、本洞　鉄道のみ　新入、忠隈
明治27年１月	田川採炭組→田川採炭坑			田川採炭組、炭況の好転に乗じて伊田村に伊田坑を（後の伊田斜坑）を開さく。平松に８尺坑及び三尺坑を稲荷山に三尺坑を開坑し田川八尺煽石を採掘。
明治27年６月13日				陸・海軍省　高品位炭を買付ける。田川八尺炭は門司港で36円、豊国、峰地、小松炭なども32円～33円
明治27年８月１日				清国に宣戦布告（日清戦争）

出所：『筑豊石炭礦業史年表』より作成。
仲江健治氏作成

(イ)－３　明治６年田川郡坑業人（山元）と石炭輸出高

石炭輸出高斤	稼人氏名	稼人村名
37,760	伊藤久一郎	糸田村稼人
1,167,040	伊藤伝三郎	宮床村
2,733,960	伊藤利八郎	糸田村
418,960	長尾弥三郎	糸田村
140,880	荒田嘉三郎	糸田村

出所：『田川市史』中巻に掲載の「中原家文書」より作成。
仲江健治氏作成

(イ)－４　明治10年田川地区石炭坑煽石坑の状況（田川郡糸田町の状況）

所在村	発見	石炭　万斤	質	所在地	所在場所
糸田村	明治９年	57	佳の上	田	村の東方４丁字飛掛
糸田村	明治９年	920	佳の上	田	村の東方５丁字飛掛

出所：『田川市史』中巻に掲載の「豊前村誌」より作成。
仲江健治氏作成

(イ)－５　田川郡炭坑分布（明治10年・明治20年）・借区状況（田川郡糸田町の状況）

所在村名	明治10年坑数	明治16年借区	明治19年借区	明治20年坑数
糸田村	2	1	1	1
宮床村	0	2	2	1

出所：『田川市史』中巻に掲載の「豊前村誌」より作成。
仲江健治氏作成

（ウ） 九州大学 記録資料館 産業経済部門 （旧石炭研究資料センター）所蔵
明治鉱業株式会社 豊国鉱業所資料目録

通番	箱№	ラベル名	番号	枝番	小枝番号	表　　題	形態
1	箱１	明治豊国	1			履歴書 参事１．２．３．４級　豊国鉱業所	本
2	箱１	明治豊国	2			職員履歴簿　　豊国鉱業所 十年保存	本
3	箱１	明治豊国	3			辞令原簿 豊国鉱業所	本
4	箱１	明治豊国	4			辞令原簿 豊国鉱業所	本
5	箱１	明治豊国	5			辞令原簿 豊国鉱業所	本
6	箱１	明治豊国	6			自昭和25年 至昭和29年 人事関係書類 其２　豊国総務課	本
7	箱１	明治豊国	7			自昭和26年 至昭和29年 人事関係書類　豊国鉱業所	本
8	箱１	明治豊国	8			昭和23年10月～昭和34年12月 人事関係綴 豊国鉱業所	本
9	箱１	明治豊国	9			昭和35年人事関係綴　豊国鉱業所	黒紐づづり
10	箱１	明治豊国	10			自昭和27年４月　至昭和30年12月 人事雑書類 総務課	本
11	箱１	明治豊国	11			昭和31年度 人事関係雑書類 豊国鉱業所	本
12	箱１	明治豊国	12			昭和32年及33年度 人事雑録　豊国鉱業所	本
13	箱１	明治豊国	13			自昭和30年１月～至昭和31年12月 人事具申書綴 豊国鉱業所	本
14	箱１	明治豊国	14			自昭和27年～至昭和31年 退職職員履歴簿　　豊国鉱業所	本
15	箱１	明治豊国	15			自昭和28年　至昭和30年 公傷報告書類 総務課	本
16	箱１	明治豊国	16			自昭和30年１月～至32年12月 役場警察学校関係綴 豊国鉱業所	本
17	箱１	明治豊国	17			昭和31年８月調査 会社創立50周年 社史編纂報告資料控 豊国鉱業所 総務課	本
18	箱２	明治豊国	18			自昭和15月９月　至昭和18年７月 金銭支払簿	本
19	箱２	明治豊国	19			自昭和18月４月　至昭和20年８月 金銭支払簿　庶務課	本
20	箱２	明治豊国	20			金銭出納簿 豊国鉱業所	本
21	箱２	明治豊国	21			保安技術員名簿	本
22	箱２	明治豊国	22			有資格者指定鉱山労働者名簿	本
23	箱２	明治豊国	23			豊国炭坑三角計算簿 明治39年５月	本
24	箱２	明治豊国	24			鉱区測量距計羌簿 豊国炭坑	本
25	箱２	明治豊国	25			豊国鉱業所方位計算表　第一鉱 測量部	紐つづり
26	箱２	明治豊国	26	1		№１ 昭和11年８月以降 測量成果表 豊国炭坑第１坑	黒紐づづり
27	箱２	明治豊国	27	2		№２ 測量成果簿 豊国炭坑第１坑 採炭課測量	黒紐づづり
28	箱２	明治豊国	28	3		測量成果表 七重右卸（七重再採掘の部）豊国鉱業所第１坑	黒紐づづり
29	箱２	明治豊国	29	4		米法採用 №４ 測量成果表 明治鉱業株式会社 豊国鉱業所第１坑	紐づづり
30	箱２	明治豊国	30			豊国工業所第１坑 測量成果表 坑内外	紐づづり
31	箱２	明治豊国	31			第１坑関係坑内外測量旧成果表 豊国炭坑第１坑測量	紐づづり
32	箱２	明治豊国	32			第１坑関係貫通測量成果表 豊国炭坑第１坑測量	紐づづり
33	箱２	明治豊国	33			昭和４年１月以降 豊国炭坑第１坑関係測量成果表 明治鉱業株式会社 豊国炭坑	袋入
34	箱２	明治豊国	34			東坑関係成果表 旧西浦坑坑外及尺無層坑内の部	黒紐づづり
35	箱２	明治豊国	35			第二本線図（新原図記入の分）測量成果表 豊国炭坑第２坑	黒紐づづり
36	箱２	明治豊国	36			第二坑成果表綴 旧成果表の部	黒紐づづり
37	箱２	明治豊国	37			第３本線下部二番層之部 測量成果表 豊国炭坑第２坑	黒紐づづり
38	箱２	明治豊国	38			左本卸 測量成果表　（３番層関係）　豊国炭坑第２坑	黒紐づづり

通番	箱№	ラベル名	番号	枝番	小枝番号	表　　題	形態
39	箱２	明治豊国	39			第１本線 測量成果表 豊国炭坑第２坑	黒紐づづり
40	箱２	明治豊国	40			第２坑関係測量成果表 明治鉱業株式会社 豊国炭坑測量	袋入
41	箱２	明治豊国	41			豊国炭坑　旧二坑関係測量成果表 明治鉱業株式会社 豊国測量	袋入
42	箱２	明治豊国	42			測量成果表 旧三坑之部	黒紐づづり
43	箱２	明治豊国	43			測量成果表 第三坑三尺第一坑	黒紐づづり
44	箱２	明治豊国	44			測量成果表 第三坑中三尺卸坑	黒紐づづり
45	箱２	明治豊国	45			測量成果表 豊国炭坑第三坑	黒紐づづり
46	箱２	明治豊国	46	0		昭和30年度６月～９月 新採掘計画図 一、七重古洞調査図 第一坑区域 1/1000 第３坑区1/3000 第４坑区1/1000 各二部在中	袋
47	箱２	明治豊国	46	1		所長用 鉱害復旧と採掘計画添付図 縮尺三千分之一 昭和30年４月28日作成	図面 (原図)
48	箱２	明治豊国	46	2		(七重卸右部)　第一坑第一大断層肩部七重八尺古洞状況図 千分之一 昭和30年６月作成	図面 (原図)
49	箱２	明治豊国	46	3		第三坑 七重、八尺古洞調査 縮尺三千分之一 昭和30年６月作成　豊国炭坑	図面 (原図)
50	箱２	明治豊国	46	4		豊国第四坑深部七重八尺層古洞状況図 千分之一 昭和30年６月	図面 (原図)
51	箱２	明治豊国	46	5		厳秘 企業計画の検討 豊国鉱業所長 野原止一 30.8.21	ノート 裏に図面付き
52	箱２	明治豊国	47	0		説明資料 本社案 35 131　№１　メモ書き (廃山)	袋
53	箱２	明治豊国	47	1		第一坑 二尺層右卸 右一方坑道と炭層関係図　ｓ35．２．13調べ	図面 (青焼)
54	箱２	明治豊国	47	2		豊国炭坑 (二尺層)　Ｓ＝1/3000	図面 (原図)
55	箱２	明治豊国	47	3		表題無し「坑内図と思われる メモ書きで原稿と書いてある」	図面 (青焼)
56	箱２	明治豊国	48			総務課長 №５ 「賠償関係と思われ、鉱害の書類や町内の図面がある。」	袋入
57	箱２	明治豊国	49	0		豊国鉱業所　所長 荒木 信義殿 坑内外図	袋入
58	箱２	明治豊国	49	1		坑外図 縮尺 3000分１ 豊国鉱業所	図面 (青焼)
59	箱２	明治豊国	49	2		表題無し「坑外図」縮尺5000分１	図面 (青焼)
60	箱３	明治豊国	50			測量成果表 豊国炭坑第４坑	黒紐づづり
61	箱３	明治豊国	51			昭和23年以降 測量成果表 豊国鉱業所 第５坑	黒紐づづり
62	箱３	明治豊国	52			測量成果表 豊国炭坑貴船坑	黒紐づづり
63	箱３	明治豊国	53			昭和27年３月29日自 尺無左坑成果表 豊国炭坑	黒紐づづり
64	箱３	明治豊国	54			第四坑測量成果表 第二原図製作用 西偏差４度～2 25秒	黒紐づづり
65	箱３	明治豊国	55			測量成果表 第３・４坑	袋入
66	箱３	明治豊国	56	0		測量成果表 春日炭坑 ① 起業小松 ①　横島坑 ① 豊国炭坑測量	袋
67	箱３	明治豊国	56	1		昭和27年12月27日以降 春日鉱業所関係成果表 豊国鉱業所測量	黒紐づづり
68	箱３	明治豊国	56	2		起業小松第五坑 坑内経緯計算表	のり付けしてノート状にしてある。
69	箱３	明治豊国	56	3		福岡県採登第871 第872号鉱区 測量成果表 横島炭坑測量部	黒紐づづり
70	箱３	明治豊国	56	4		金川村大字糯、棚本坑外測量成果表　豊国炭坑 第１坑測量	のり付けしてノート状にしてある。
71	箱３	明治豊国	56	5		貫通測量成果表 豊国炭坑第二坑	紐づづり

通番	箱№	ラベル名	番号	枝番	小枝番号	表　　題	形態
72	箱３	明治豊国	57	0		旧測量成果表 豊国鉱業所	袋
73	箱３	明治豊国	57	1		昭和■年１月旧起 経緯計算表　第１坑測量	本
74	箱３	明治豊国	57	2		表題無し （仮題）第一坑経緯計算表 第一坑測量	ノート
75	箱３	明治豊国	57	3		（仮題）経緯計算表	ノート
76	箱３	明治豊国	57	4		Ｂ　測量成果表綴 明治鉱業株式会社 豊国鉱業所 第一坑測量係	黒紐づづり
77	箱３	明治豊国	58			■■炭坑第一坑関係測量成果表 明治鉱業株式会社 ■■測量	袋入
78	箱３	明治豊国	59			資源庁 炭量計算基準 豊国鉱業所	袋入
79	箱３	明治豊国	60			分析表	袋入
80	箱３	明治豊国	61	0		分析表	袋
81	箱３	明治豊国	61	1		昭和11年８月調 炭柱分析表 明治鉱業 株式会社 研究課之分写 豊国鉱業所	黒紐づづり
82	箱３	明治豊国	61	2		昭和15年７月 石炭分析表　豊国第三坑	黒紐づづり
83	箱３	明治豊国	61	3		石炭分析成績報告書 豊国測量室	黒紐づづり
84	箱３	明治豊国	61	4		表題無し（仮題）石炭分析表	クリップ止め書類
85	箱３	明治豊国	61	5		表題無し（仮題）石炭分析表	クリップ止め書類
86	箱３	明治豊国	61	6		表題無し（仮題）石炭分析表	クリップ止め書類
87	箱３	明治豊国	61	7		明鉱九州支社 炭層柱状図 単位米 Ｓ24．12製図	図面（青焼）
88	箱３	明治豊国	61	8	1	豊国鉱業所　炭層調査付図（柱状略図）　縮尺五十分之一	図面（青焼）
89	箱３	明治豊国	61	8	2	豊国鉱業所　炭層調査付図（柱状略図）　縮尺五十分之一	図面（青焼）
90	箱３	明治豊国	62	0		石炭分析関係書類 豊国鉱業所	袋
91	箱３	明治豊国	62	1		昭和５年４月調 各鉱業所炭質調査図表　鉱務部之分写 豊国	紐づづり
92	箱３	明治豊国	62	2		昭和５年以降　石炭分析成績報告書綴　豊国炭鉱　第一坑	黒紐づづり
93	箱３	明治豊国	62	3		昭和28年４月調製分析成績表（付図 採取位置）　明治鉱業株式会社 豊国鉱業所	図面（青焼）
94	箱３	明治豊国	62	4		豊国炭鉱 坑内図（縮尺六千分之一）	図面（青焼）
95	箱３	明治豊国	62	5		（分析資料採取個所一覧）　豊国鉱業所坑内図 縮尺六千分之一 採取者 桑野鎌次	紐つづり
96	箱３	明治豊国	62	6		石炭分析成績報告書	クリップ止め書類
97	箱３	明治豊国	62	7		石炭分析成績報告書	クリップ止め書類
98	箱３	明治豊国	62	8		石炭分析成績報告書	クリップ止め書類
99	箱３	明治豊国	62	9		石炭分析成績報告書	クリップ止め書類
100	箱３	明治豊国	62	10		石炭分析成績報告書	クリップ止め書類
101	箱３	明治豊国	62	11		石炭分析成績報告書	クリップ止め書類
102	箱３	明治豊国	62	12		石炭分析成績報告書	クリップ止め書類
103	箱３	明治豊国	62	13		（仮題）豊国炭鉱各層分析表	クリップ止め書類
104	箱３	明治豊国	63			28年４月調査 分析表	袋入

通番	箱№	ラベル名	番号	枝番	小枝番号	表　　題	形態
105	箱３	明治豊国	64			昭和29年７月以降 職員負傷者名簿（保安カード）	カードを紐で縛る
106	箱３	明治豊国	65			表紙無し 保安カード №1～№100	カードを紐で縛る
107	箱３	明治豊国	66			表紙無し 保安カード №101～№200	カードを紐で縛る
108	箱３	明治豊国	67			表紙無し 保安カード №201～№300	カードを紐で縛る
109	箱３	明治豊国	68			表紙無し 保安カード №301～№400	カードを紐で縛る
110	箱３	明治豊国	69			表紙無し 保安カード №401～№500	カードを紐で縛る
111	箱３	明治豊国	70			表題無し 保安カード	カードを紐で縛る
112	箱４	明治豊国	71			災害関係 昭和28年９月12日～昭和32年５月18日	袋入
113	箱４	明治豊国	72			災害関係調査綴 「袋内にファイルが入っている」	袋入
114	箱４	明治豊国	73			支社提出災害月報綴	ハードカバーファイル
115	箱４	明治豊国	74			保安関係許可証	袋入
116	箱４	明治豊国	75			昭和34年度 昭和35年度　鉱害賠償供託金算定資料　測量室	袋入
117	箱４	明治豊国	76			坑外測量野■ №１ 昭和26年11月20日より至昭和　年　月　日 豊国炭坑	野帳
118	箱４	明治豊国	77			№２ 坑外測量野帳　昭和28年５月11日　豊国炭坑尺無左坑専	野帳
119	箱４	明治豊国	78			表紙欠落のため表題無し 野帳	野帳
120	箱４	明治豊国	79			坑外測量野帳 豊国測量	野帳
121	箱４	明治豊国	80			ハンキング野帳 №1 観世音四坑関係 豊国鉱業所測量用	野帳
122	箱４	明治豊国	81			Hanging 野帳 №３ 昭和31年５月25日 昭和32年６月25日 豊国鉱業所 三尺第一坑	野帳
123	箱４	明治豊国	82			Hanging 野帳 №４ 自昭和32年６月26日 至昭和33年３月27日 豊国鉱業所 三尺第一坑	野帳
124	箱４	明治豊国	83			Hanging 野帳 №５ 自昭和33年３月28日 至昭和34年３月31日 豊国鉱業所 三尺第一坑	野帳
125	箱４	明治豊国	84			Hanging 野帳 №６ 自昭和34年４月１日 至昭和　年　月　日　豊国鉱業所 三尺第一坑	野帳
126	箱４	明治豊国	85			Hanging 野帳 №９ 自昭和32年４月豊国鉱業所 第四坑	野帳
127	箱４	明治豊国	86			Hanging 野帳 №12 豊国鉱業所 第四坑	野帳
128	箱４	明治豊国	87			昭和30年１月起 水準儀野帳　豊国測量 第一坑	野帳
129	箱４	明治豊国	88			坑内 Hanging Book　自昭和27年４月以降 至昭和29年６月 豊測第一坑 №41	野帳
130	箱４	明治豊国	89			坑内 Hanging Book　昭和29年８月以降 昭和32年１月■■ №42 豊測第■	野帳
131	箱４	明治豊国	90			Hanging 野帳 №８ 自昭和31年６月 至昭和31年　月　豊国鉱業所 第四坑	野帳
132	箱４	明治豊国	91			Hanging 野帳 №11 豊国鉱業所　第四坑	野帳
133	箱４	明治豊国	92			ハンキング野帳 №43 自昭和32年１月以降 豊国鉱業所	野帳
134	箱４	明治豊国	93			第４坑 羅盤測量野帳 №７ 自昭和30年６月　至昭和　年　月　豊国炭坑採炭課測量	野帳

通番	箱№	ラベル名	番号	枝番	小枝番号	表　　題	形態
135	箱４	明治豊国	94			転鏡儀 坑内野帳 第二坑 左本卸 明治鉱業株式会社 豊国鉱業所	野帳
136	箱４	明治豊国	95			転鏡儀 坑内野帳 第二坑 第三本線 明治鉱業株式会社 豊国鉱業所	野帳
137	箱４	明治豊国	96			転鏡儀 坑内野帳 第一坑 七重右卸 明治鉱業株式会社 豊国鉱業所	野帳
138	箱４	明治豊国	97			坑内野帳 自昭和32年８月　至昭和32年　月 三尺第一坑 明治鉱業株式会社	野帳
139	箱４	明治豊国	98			トランシット坑内野帳　第四坑 明治鉱業株式会社	野帳
140	箱４	明治豊国	99			七重右卸　トランシット坑内野帳 第四坑 明治鉱業株式会社	野帳
141	箱４	明治豊国	100			明治27年 隣鉱区付近 坑内野帳 横島三浦坑 豊国測量	野帳
142	箱４	明治豊国	101			坑内野帳 隣鉱区関係 明治鉱業株式会社 豊国鉱業所	野帳
143	箱４	明治豊国	102			春日坑 トランジト野帳 №１ 豊国	野帳
144	箱４	明治豊国	103			№43 TRANSIT BOOK 豊国鉱業所 第一坑	野帳
145	箱４	明治豊国	104			№44 TRANSIT BOOK 豊国鉱業所 第一坑測量	野帳
146	箱４	明治豊国	105			Transit 野帳 №45 豊国鉱業所　第一坑	野帳
147	箱４	明治豊国	106			トランシット野帳 №1 左本線 豊国鉱業所 第二坑	野帳
148	箱４	明治豊国	107			トランシット野帳 現場用 №２ 左本卸 一番層第一卸 豊国鉱業所 第二坑	野帳
149	箱４	明治豊国	108			トランシット野帳 三尺第一坑坑内 自昭和28年４月 昭和32年８月 豊国三坑測量部	野帳
150	箱４	明治豊国	109			トランシット野帳 自昭和32年４月 至昭和３ 年　月　日 豊国鉱業所 三尺第一坑	野帳
151	箱４	明治豊国	110			トランシット野帳 昭和32年５月以降 豊国鉱業所 第四坑	野帳
152	箱４	明治豊国	111			トランシット野帳 №１ 観世音四坑関係 豊国鉱業所測量用	野帳
153	箱４	明治豊国	112			坑外野帳 「表紙をへこませる印刷になっている」	野帳
154	箱４	明治豊国	113			Hanging Come■ss Surver Fiel■Book No,1 seuwa25 ma■ch since Then Hookoku Coalpit F■rstpit kihumepit	野帳
155	箱４	明治豊国	114			第３坑関係 三角測量綴	袋入
156	箱４	明治豊国	115			甲号社宅図	図面 (青焼)
157	箱４	明治豊国	116			打越社宅高低測量図	図面 (青焼)
158	箱４	明治豊国	117			糸田駅前対籾井炭坑土地境界調印図	図面 (青焼)
159	箱４	明治豊国	118			発送案内控 自昭和35年８月24日 至昭和36年５月31日	黒紐づづり
160	箱４	明治豊国	119			自昭和36年６月１日 至昭和36年 発送案内書綴	黒紐づづり
161	箱４	明治豊国	120			機械発送依頼書 赤池	黒紐づづり
161	箱４	明治豊国	121			機械発送依頼書 平山	黒紐づづり
162	箱４	明治豊国	122			機械発送依頼書 明治佐賀	黒紐づづり
163	箱４	明治豊国	123			残務整理事務控	ハードカバーファイル
164	箱４	明治豊国	124			豊国御中 田川市水道関係図 九事庶	袋入
165	箱４	明治豊国	125			整備 阝業ロ関係	袋入
166	箱５	明治豊国	126			昭和35年以降 一般鉱害認定に関する調査図表 豊国炭坑	袋入
167	箱５	明治豊国	126	0		事業団関係書類	袋
168	箱５	明治豊国	126	1		売渡の申込から売買契約の締結まで昭和35年９月１日 石炭鉱業合理化事業団	配布用冊子

通番	箱№	ラベル名	番号	枝番	小枝番号	表　　題	形態
169	箱５	明治豊国	126	2		石炭鉱業整備事業団九州支部 支部長 坪内正吉より鉱業権者又は鉱業代理人へ 炭鉱売買に伴い提出を要する文書図面について	公文書
170	箱５	明治豊国	126	3		35度石合 号外 昭和35年９月６日 石炭鉱業合理化事業団業務部長 八谷 芳裕より九州支部業務部長へ 買収業務の改善に関する諸申請について	公文書
171	箱５	明治豊国	126	4		石炭鉱業整備事業団九州支部　支部長　坪内正吉より「宛名・日付は記入無し」 枠外炭鉱の予備調査について	公文書
172	箱５	明治豊国	126	5		昭和35年９月８日 福岡県田川郡糸田町3663 第二観世音炭鉱 鉱業権者 藤本 巧より福岡県通商局長 川瀬健治殿 坑内実測証明願	公文書
173	箱５	明治豊国	126	6		昭和35年９月８日 福岡県田川郡糸田町3663 第二観世音炭鉱 鉱業権者 藤本 巧より福岡県通商局長 川瀬健治殿 坑内実測証明願	公文書
174	箱５	明治豊国	126	7		豊国炭鉱の保坑費について 昭和35年12月16日豊国炭鉱	公文書
175	箱５	明治豊国	126	8		豊発三五第二十七号 昭和35年６月４日 豊国炭鉱残務整理事務所長より 総務部長 九州事務所長殿 石炭鉱業整備事業団売渡申込炭鉱の枠内繰上時期等について	公文書
176	箱５	明治豊国	126	9		炭鉱概況 豊国炭鉱	紐綴りノート
177	箱５	明治豊国	126	10		炭鉱概況 豊国炭鉱	紐綴りノート
178	箱５	明治豊国	126	11		創業以来の収炭関係 豊国炭鉱	紐綴りノート
179	箱５	明治豊国	126	12		豊国炭鉱坑道説明図（坑道断面図） Ｓ＝1/100	図面
180	箱５	明治豊国	126	13		自昭和32年９月 至昭和35年３月　第二観世音炭鉱採掘権租鉱権別出炭料 算定説明	クリップ止め書類
181	箱５	明治豊国	126	14		五条審査に関する売渡申込人提出資料（仮題）	クリップ止め書類
182	箱５	明治豊国	126	15		昭和35年　月　　日 過去の操業状況調査関係表 明治鉱業株式会社 豊国炭鉱	Ｂ４冊子
183	箱５	明治豊国	126	16		炭鉱概況 明治鉱業株式会社 豊国炭鉱	Ｂ４冊子
184	箱５	明治豊国	126	17		昭和35年６月６日　豊国炭鉱残務整理事務所長 中西正喜より九州事務所長　木庭幸雄殿 事業団提出炭量計算ならびに主要坑道に関する原案報告の件	公文書
185	箱５	明治豊国	127	0		事業団関係提出書類控等	袋
186	箱５	明治豊国	127	1	1	採掘区域図 五千分之一	図面（青焼）
187	箱５	明治豊国	127	1	2	採掘区域図 五千分之一	図面（青焼）
188	箱５	明治豊国	127	2	1	鉱床図 五千分之一	図面（青焼）
189	箱５	明治豊国	127	2	2	鉱床図 五千分之一	図面（青焼）
190	箱５	明治豊国	127	3		元採登第壱式四式号鉱区 鉱床図 六千分之一	図面（青焼）
191	箱５	明治豊国	127	4		田川市田川郡糸田町地内 第二観世音炭鉱坑内実測図　縮尺三千分之一	図面（青焼）
192	箱５	明治豊国	127	5	1	採掘区域図 縮尺　五千分之一	図面（青焼）
193	箱５	明治豊国	127	5	2	採掘区域図 縮尺　五千分之一	図面（青焼）
194	箱５	明治豊国	127	6		豊国炭鉱 坑外鉱業施設配置図 軌条布設図 Ｓ＝1/3000	図面（青焼）
195	箱５	明治豊国	127	7		表題の記入無し　坑内図（仮題）	図面（青焼）
196	箱５	明治豊国	127	8		表題の記入無し 構築物軌条　35．10．６調べ	ノートホッチキス止め
197	箱５	明治豊国	128	0		五条審査関係提出書類控 書類名 提出部数　鉱区位置図５部 地質図及び断面図各６部 炭層及び地質柱状図各６部 実収可能炭量算出表４部 炭層状況表４部 炭量計算書４部	袋
198	箱５	明治豊国	128	1		地質図　　Ｓ＝1/5000　　明治鉱業株式会社 豊国炭鉱	図面（青焼）

通番	箱№	ラベル名	番号	枝番	小枝番号	表　　題	形態
199	箱５	明治豊国	128	2		炭量計算図 縮尺1/5000　尺無層	図面 (青焼)
200	箱５	明治豊国	128	3		炭量計算図 縮尺1/5000　二尺層（上炭)	図面 (青焼)
201	箱５	明治豊国	128	4		炭量計算図 縮尺1/5000　二尺層	図面 (青焼)
202	箱５	明治豊国	128	5		炭量計算図 縮尺1/5000　一番層	図面 (青焼)
203	箱５	明治豊国	128	6		炭量計算図 縮尺1/5000　二番層	図面 (青焼)
204	箱５	明治豊国	128	7		炭量計算図 縮尺1/5000　三番層	図面 (青焼)
205	箱５	明治豊国	128	8		炭量計算図 縮尺1/5000　上三尺層	図面 (青焼)
206	箱５	明治豊国	128	9		炭量計算図 縮尺1/5000　中三尺層	図面 (青焼)
207	箱５	明治豊国	128	10		炭量計算図 縮尺1/5000　三尺層上層	図面 (青焼)
208	箱５	明治豊国	128	11		炭量計算図 縮尺1/5000　三尺層下層	図面 (青焼)
209	箱５	明治豊国	128	12		炭量計算図 縮尺1/5000　四尺層	図面 (青焼)
210	箱５	明治豊国	128	13		炭量計算図 縮尺1/5000　五尺層	図面 (青焼)
211	箱５	明治豊国	128	14		炭量計算図 縮尺1/5000　五尺層（二枚炭)	図面 (青焼)
212	箱５	明治豊国	128	15		炭量計算図 縮尺1/5000　八尺層	図面 (青焼)
213	箱５	明治豊国	128	16	1	炭量計算図 縮尺1/5000　八尺層（ゴースケ炭)	図面 (青焼)
214	箱５	明治豊国	128	16	2	炭量計算図 縮尺1/5000　八尺層（ゴースケ炭)	図面 (青焼)
215	箱５	明治豊国	128	17		炭量計算図 縮尺1/5000　四番層	図面 (青焼)
216	箱５	明治豊国	128	18		炭量計算図 縮尺1/5000　五番層	図面 (青焼)
217	箱５	明治豊国	128	19		炭量計算図 縮尺1/5000　七重層	図面 (青焼)
218	箱５	明治豊国	128	20		炭量計算図 縮尺1/5000　七重層（古洞採掘)	図面 (青焼)
219	箱５	明治豊国	128	21		地質断面図（Ａ～Ｂ線）　縮尺五千分之一　明治鉱業株式会社 豊国炭鉱	図面 (青焼)
220	箱５	明治豊国	128	22		地質柱状図 Ｓ＝1/1000 明治鉱業株式会社 豊国炭鉱	図面 (青焼)
221	箱５	明治豊国	128	23		炭層柱状図 縮尺1/50 豊国炭鉱	図面 (青焼)
222	箱５	明治豊国	128	24		豊発35年321号昭和35年９月21日 炭鉱所在地 福岡県田川郡糸田町2001番地 炭鉱名 豊国炭鉱 東京都中央区八重洲六丁目一番地　明治鉱業株式会社 福岡県田川郡糸田町3722番地 鉱業代理人 中西正喜より福岡通商産業局長 川瀬健治殿 豊国炭鉱の出炭量・平均品位及び労務者数の証明願	公文書
223	箱５	明治豊国	129	0		５条審査関係提出書類	袋
224	箱５	明治豊国	129	1	1	地質図 Ｓ＝1/5000 明治豊国株式会社 豊国炭鉱	図面 (青焼)
225	箱５	明治豊国	129	1	2	地質図 Ｓ＝1/5000 明治豊国株式会社 豊国炭鉱	図面 (青焼)
226	箱５	明治豊国	129	2	1	炭量計算図 縮尺1/5000　尺無層	図面 (青焼)
227	箱５	明治豊国	129	2	2	炭量計算図 縮尺1/5000　尺無層	図面 (青焼)
228	箱５	明治豊国	129	3	1	炭量計算図 縮尺1/5000　二尺層	図面 (青焼)
229	箱５	明治豊国	129	3	2	炭量計算図 縮尺1/5000　二尺層	図面 (青焼)
230	箱５	明治豊国	129	4	1	炭量計算図 縮尺1/5000　二尺層（上炭)	図面 (青焼)
231	箱５	明治豊国	129	4	2	炭量計算図 縮尺1/5000　二尺層（上炭)	図面 (青焼)
232	箱５	明治豊国	129	5	1	炭量計算図 縮尺1/5000　上三尺層	図面 (青焼)
233	箱５	明治豊国	129	5	2	炭量計算図 縮尺1/5000　上三尺層	図面 (青焼)
234	箱５	明治豊国	129	6	1	炭量計算図 縮尺1/5000　中三尺層	図面 (青焼)
235	箱５	明治豊国	129	6	2	炭量計算図 縮尺1/5000　中三尺層	図面 (青焼)
236	箱５	明治豊国	129	7	1	炭量計算図 縮尺1/5000　三尺層（上層)	図面 (青焼)
237	箱５	明治豊国	129	7	2	炭量計算図 縮尺1/5000　三尺層（上層)	図面 (青焼)
238	箱５	明治豊国	129	8	1	炭量計算図 縮尺1/5000　三尺層（下層)	図面 (青焼)

通番	箱№	ラベル名	番号	枝番	小枝番号	表　　題	形態
239	箱５	明治豊国	129	8	2	炭量計算図 縮尺1/5000　三尺層（下層）	図面（青焼）
240	箱５	明治豊国	129	9	1	炭量計算図 縮尺1/5000　四尺層	図面（青焼）
241	箱５	明治豊国	129	9	2	炭量計算図 縮尺1/5000　四尺層	図面（青焼）
242	箱５	明治豊国	129	10	1	炭量計算図 縮尺1/5000　五尺層	図面（青焼）
243	箱５	明治豊国	129	10	2	炭量計算図 縮尺1/5000　五尺層	図面（青焼）
244	箱５	明治豊国	129	11	1	炭量計算図 縮尺1/5000　五尺層（二枚炭）	図面（青焼）
245	箱５	明治豊国	129	11	2	炭量計算図 縮尺1/5000　五尺層（二枚炭）	図面（青焼）
246	箱５	明治豊国	129	12	1	炭量計算図 縮尺1/5000　八尺層	図面（青焼）
247	箱５	明治豊国	129	12	2	炭量計算図 縮尺1/5000　八尺層	図面（青焼）
248	箱５	明治豊国	129	13	1	炭量計算図 縮尺1/5000　八尺層（ゴースケ炭）	図面（青焼）
249	箱５	明治豊国	129	13	2	炭量計算図 縮尺1/5000　八尺層（ゴースケ炭）	図面（青焼）
250	箱５	明治豊国	129	13	3	炭量計算図 縮尺1/5000　八尺層（ゴースケ炭）	図面（青焼）
251	箱５	明治豊国	129	13	4	炭量計算図 縮尺1/5000　八尺層（ゴースケ炭）	図面（青焼）
252	箱５	明治豊国	129	14	1	炭量計算図 縮尺1/5000　一番層	図面（青焼）
253	箱５	明治豊国	129	14	2	炭量計算図 縮尺1/5000　一番層	図面（青焼）
254	箱５	明治豊国	129	15	1	炭量計算図 縮尺1/5000　二番層	図面（青焼）
255	箱５	明治豊国	129	15	2	炭量計算図 縮尺1/5000　二番層	図面（青焼）
256	箱５	明治豊国	129	16	1	炭量計算図 縮尺1/5000　三番層	図面（青焼）
257	箱５	明治豊国	129	16	2	炭量計算図 縮尺1/5000　三番層	図面（青焼）
258	箱５	明治豊国	129	17	1	炭量計算図 縮尺1/5000　四番層	図面（青焼）
259	箱５	明治豊国	129	17	2	炭量計算図 縮尺1/5000　四番層	図面（青焼）
260	箱５	明治豊国	129	18	1	炭量計算図 縮尺1/5000　五番層	図面（青焼）
261	箱５	明治豊国	129	18	2	炭量計算図 縮尺1/5000　五番層	図面（青焼）
262	箱５	明治豊国	129	19	1	炭量計算図 縮尺1/5000　七重層	図面（青焼）
263	箱５	明治豊国	129	19	2	炭量計算図 縮尺1/5000　七重層	図面（青焼）
264	箱５	明治豊国	129	20	1	炭量計算図 縮尺1/5000　七重層（古洞採掘）	図面（青焼）
265	箱５	明治豊国	129	20	2	炭量計算図 縮尺1/5000　七重層（古洞採掘）	図面（青焼）
266	箱５	明治豊国	129	21		地質断面図（Ａ～Ｂ線）　縮尺五千分之一　明治鉱業株式会社 豊国炭鉱	図面（青焼）
267	箱５	明治豊国	129	22		地質柱状図　Ｓ＝1/1000 明治鉱業株式会社 豊国炭鉱	図面（青焼）
268	箱５	明治豊国	129	23		炭層柱状図　縮尺 1/50 豊国炭鉱	図面（青焼）
269	箱５	明治豊国	129	24	1	豊国炭鉱実収可能炭量算出表	図面（青焼）
270	箱５	明治豊国	129	24	2	豊国炭鉱実収可能炭量算出表	図面（青焼）
271	箱５	明治豊国	129	24	3	豊国炭鉱実収可能炭量算出表	図面（青焼）
272	箱５	明治豊国	129	24	4	豊国炭鉱実収可能炭量算出表	図面（青焼）
273	箱５	明治豊国	130	0		坑内実測図・採掘区域図　・交渉図	袋
274	箱５	明治豊国	130	1		田川市田川郡糸田町地内 第二観世音炭鉱坑内実測図　縮尺三千分之一　「完成品でなく原稿」	図面（原図）
275	箱５	明治豊国	130	2		採掘区域図 縮尺五千分の一　「完成品でなく原稿」	図面（原図）
276	箱５	明治豊国	130	3		採掘区域図　縮尺五千分の一	図面（原図）
277	箱５	明治豊国	130	4		元採登第壱式四式号鉱区 鉱床図 六千分之一	図面（原図）
278	箱５	明治豊国	130	5		福岡県採掘権登録第1692号 鉱業法第46条による増区　鉱床図	図面（原図）
279	箱５	明治豊国	131			取扱マル秘 水道管配管調査地形図原稿	袋入
280	箱５	明治豊国	132			原案 事業団ボタ山スペア	袋入

通番	箱№	ラベル名	番号	枝番	小枝番号	表　　題	形態
281	箱５	明治豊国	133			事業団硬山関係スペア 第６坑 （第２観世の分） 在中 不提出	袋入
282	箱５	明治豊国	134			ボタ山調査提出控 提出部数 ボタ山調査添付図 1/3000 ２部 ボタ山右断面図 ２部 硬山調査表２部 捨石集積場管理一覧表豊国分 ２部 防護施設断面図及び表２部	袋入
283	箱５	明治豊国	135	0		事業団関係 坑口閉鎖関係書類	袋
284	箱５	明治豊国	135	1		豊国炭鉱坑口閉鎖工事仕様書 36.5.6測量控	ノート（青焼）
285	箱５	明治豊国	135	2		各坑口閉鎖用図面 （仮題）	図面（青焼）
286	箱５	明治豊国	135	3		尺無左坑連卸坑口閉鎖工事設計図 （旧豊国炭鉱）Ａ－Ａ断面図 Ｓ＝1/100	図面（原図）
287	箱５	明治豊国	135	4		尺無左坑連卸坑口閉鎖工事仕様図 （旧豊国炭鉱）Ａ－Ａ断面図 Ｓ＝1/100	図面（原図）
288	箱５	明治豊国	135	5		坑口閉鎖工程表 豊国炭鉱	青焼 Ｂ４
289	箱５	明治豊国	136			昭和37年７月社有地建物処分関係図	袋入
290	箱５	明治豊国	137	0		施業案 ■■済 事業団間接的書類	袋
291	箱５	明治豊国	137	1		第二坑関係 組織表（仮題） 採炭関係はＳ27．５末現在	図面（青焼）
292	箱５	明治豊国	137	2		炭量計算表	クリップ止め書類
293	箱５	明治豊国	137	3		評価概算	クリップ止め書類
294	箱５	明治豊国	137	4		評価概算	クリップ止め書類
295	箱５	明治豊国	137	5		鉱区分割した場合における評価額減少概算 35．８．22	クリップ止め書類
296	箱５	明治豊国	137	6		採掘可能実収炭量概算 35.12．６	クリップ止め書類
297	箱５	明治豊国	137	7		糒炭鉱重複鉱区部分 評価概算 35.10.17調	クリップ止め書類
298	箱５	明治豊国	137	8		評価概算	クリップ止め書類
299	箱５	明治豊国	137	9		鉱区分割予定区域ならびに炭量算図表 豊国炭砿残務整理事務所	クリップ止め書類
300	箱５	明治豊国	137	10		鉱区分割予定区域ならびに炭量算図表 豊国炭砿残務整理事務所 （原案）	クリップ止め書類
301	箱５	明治豊国	137	11		その他「ラベルに記入」 図面 ﾒﾓ等	図面等
302	箱５	明治豊国	138	0		昭和35年７月 資材処理関係書類 豊国炭坑残務整理事業所採炭保安関係	袋
303	箱５	明治豊国	138	1		第１次調査の分 昭和35年６月10日現在 撤収資料調査表 豊国炭砿残務整理事務所	クリップ止め書類Ｂ５くらいの冊子
304	箱５	明治豊国	138	2		撤収主資料調査品目 35．６．14受付	クリップ止め書類
305	箱５	明治豊国	138	3		表題記入無し 払下希望品名 （仮題）	クリップ止め書類
306	箱５	明治豊国	139	0		採炭権坑道関係事業団 現地調査提出資料控	袋
307	箱５	明治豊国	139	1	1	鉱区連絡図 豊国炭鉱 1/5000	図面（青焼）
308	箱５	明治豊国	139	1	2	鉱区連絡図 豊国炭鉱 1/5000	図面（青焼）
309	箱５	明治豊国	139	2		鉱区連絡図 豊国炭鉱 1/5000 豊国鉱変遷	図面（青焼）
310	箱５	明治豊国	139	3	1	豊国炭鉱坑道説明図 縮尺1/3000	図面（青焼）
311	箱５	明治豊国	139	3	2	豊国炭鉱坑道説明図 縮尺1/3000	図面（青焼）

通番	箱№	ラベル名	番号	枝番	小枝番号	表　　題	形態
312	箱５	明治豊国	139	4		豊国炭坑坑内鉱業施設配置図 機械および装置 Ｓ＝1/3000	図面（青焼）
313	箱５	明治豊国	139	5		地形図　Ｓ＝1/5000　明治鉱業株式会社 豊国炭鉱	図面（青焼）
314	箱５	明治豊国	139	6		残炭採掘関係資料 縮尺 1/3000 豊国炭鉱 昭和32年９月より昭和35年８月まで	図面（青焼）
315	箱５	明治豊国	139	7		試すい柱状図 縮尺1/1000 豊国炭鉱	図面（青焼）
316	箱５	明治豊国	139	8		炭層柱状図　縮尺 1/50 豊国炭鉱	図面（青焼）
317	箱５	明治豊国	139	9	1	豊国鉱区変遷	図表（青焼き）
318	箱５	明治豊国	139	9	2	豊国鉱区変遷	図表（青焼き）
319	箱５	明治豊国	139	10	1	控各層別山丈炭丈表 当初の分	図表（青焼き）
320	箱５	明治豊国	139	10	2	控各層別山丈炭丈表	図表（青焼き）
321	箱５	明治豊国	139	11		豊国炭鉱炭層状況表 控　 36.２.18 再提出分	クリップ止め　Ｂ４
322	箱５	明治豊国	139	12	1	開坑よりの出炭（主要坑道として申請している坑口のみ）豊国炭鉱	クリップ止め　Ｂ４
323		明治豊国	139	12	2	控 開坑よりの出炭（主要坑道として申請している坑口のみ）豊国炭鉱	クリップ止め　Ｂ４
324	箱５	明治豊国	140	0		事業団用 坑口閉鎖関係図 第二観世音炭鉱坑口関係廃止届 豊国炭鉱鉱区図 重複鉱区鉱区図 重複鉱区鉱床図	袋
325	箱５	明治豊国	140	1	1	採掘区域図 縮尺５千分之一　昭和26年　月　日出願　住所 福岡市新開町２丁目25番地1-1 出願者　野見山謙二	図表（青焼き）
326	箱５	明治豊国	140	1	2	採掘区域図 縮尺５千分之一　昭和26年　月　日出願　住所 福岡市新開町２丁目25番地1-1 出願者　野見山謙二	図表（青焼き）
327	箱５	明治豊国	140	2		採掘区域図 縮尺５千分之一　昭和28年８月９日出願　東京都銀座七丁目参番地　出願人　明治鉱業株式会社 代表取締役 公荘惟義	図表（青焼き）
328	箱５	明治豊国	140	3	1	採掘区域図 縮尺五千分の一 福岡市東警固町１番地の２ 籾井鉱業株式会社 共同代表取締役 籾井敏雄　共同代表取締役 小林重信	図表（青焼き）
329	箱５	明治豊国	140	3	2	採掘区域図 縮尺五千分の一 福岡市東警固町１番地の２ 籾井鉱業株式会社 共同代表取締役 籾井敏雄　共同代表取締役 小林重信	図表（青焼き）
330	箱５	明治豊国	140	4	1	元採登第壱式四式号鉱区 鉱床図 平面図 六千分之一　(昭和23年６月15日登録図)	図表（青焼き）
331	箱５	明治豊国	140	4	2	元採登第壱式四式号鉱区 鉱床図 平面図 六千分之一　(昭和23年６月15日登録図)	図表（青焼き）
332	箱５	明治豊国	140	5	1	福岡県採掘権登録第1692号鉱業法第四十六条による増区 鉱床図	図表（青焼き）
333	箱５	明治豊国	140	5	2	福岡県採掘権登録第1692号鉱業法第四十六条による増区 鉱床図	図表（青焼き）
334	箱５	明治豊国	140	6	1	坑口使用廃止届 30年12月27日 通商産業大臣 石橋湛山殿 届出者 藤本 巧 住所 福岡県田川郡糸田町797番地	公文書（青焼き）
335	箱５	明治豊国	140	6	2	坑口使用廃止届 30年12月27日 通商産業大臣 石橋湛山殿 届出者 藤本 巧 住所 福岡県田川郡糸田町797番地	公文書（青焼き）
336	箱５	明治豊国	140	7	1	坑口使用廃止届 31年９月７日 通商産業大臣 石橋湛山殿 届出者 藤本 巧 住所 福岡県田川郡糸田町797番地	公文書（青焼き）
337	箱５	明治豊国	140	7	2	坑口使用廃止届 31年９月７日 通商産業大臣 石橋湛山殿 届出者 藤本 巧 住所 福岡県田川郡糸田町797番地	公文書（青焼き）
338	箱５	明治豊国	140	8	1	坑口使用廃止届 昭和34年3月23日 通商産業大臣 高碕達之助殿 届出者 藤本 巧 住所 福岡県田川郡糸田町797番地	公文書（青焼き）

通番	箱№	ラベル名	番号	枝番	小枝番号	表　　題	形態
339	箱５	明治豊国	140	8	2	坑口使用廃止届 昭和34年３月23日 通商産業大臣 高碕達之助殿 届出者 藤本 巧 住所 福岡県田川郡糸田町797番地	公文書（青焼き）
340	箱５	明治豊国	140	9	1	廃坑届 昭和35年７月18日 福岡通商産業局長 川瀬健治殿 住所 福岡県田川郡糸田町797番地 租鉱権者　藤本 巧	公文書（青焼き）
341	箱５	明治豊国	140	9	2	廃坑届 昭和35年７月18日 福岡通商産業局長 川瀬健治殿 住所 福岡県田川郡糸田町797番地 租鉱権者　藤本 巧	公文書（青焼き）
342	箱５	明治豊国	140	10	1	坑口使用廃止届 昭和35年10月14日 通商産業大臣 川瀬健治殿 届出者 観世音鉱業株式会社 代表取締役 藤本 巧 住所 福岡県田川郡糸田町797	公文書（青焼き）
343	箱５	明治豊国	140	10	2	坑口使用廃止届 昭和35年10月14日 通商産業大臣 川瀬健治殿 届出者 観世音鉱業株式会社 代表取締役 藤本 巧 住所 福岡県田川郡糸田町797	公文書（青焼き）
344	箱５	明治豊国	141	0		昭和36年１月採掘権坑道関係事業団現地調査関係資料 採炭保安課	袋
345	箱５	明治豊国	141	1		炭鉱概況 明治鉱業株式会社 豊国炭鉱	紐綴り　Ｂ４
346	箱５	明治豊国	141	2		月別坑口別出炭実績　35．８．３調	クリップ止め書類
347	箱５	明治豊国	141	3		各層別山丈炭丈表	図表（青焼き）
348	箱５	明治豊国	141	4	1	炭層柱状図 縮尺1/50 豊国炭鉱	図表（青焼）
349	箱５	明治豊国	141	4	2	炭層柱状図 縮尺1/50 豊国炭鉱	図面（青焼）
350	箱５	明治豊国	141	5		36．１．13 事業団指示関係採掘権と坑道現地調査関係資料	クリップ止め ノート（罫紙）
351	箱５	明治豊国	141	6		炭鉱概況必要資料	クリップ止め ノート
352	箱５	明治豊国	141	7		炭鉱概況	クリップ止め ﾉｰﾄ（青焼）
353	箱５	明治豊国	141	8		豊国炭鉱坑道説明図 縮尺1/3000	図面（青焼）
354	箱５	明治豊国	141	9		地質調査資料添付坑内図　Ｓ＝1：5000　明治鉱業株式株式会社 豊国炭鉱	図面（青焼）
355	箱５	明治豊国	142	0		事業団による調査資料	袋
356	箱５	明治豊国	142	1		炭量計算区域図　縮尺1/5000　①尺無層　豊国炭鉱	図面（青焼）
357	箱５	明治豊国	142	2		炭量計算区域図　縮尺1/5000　⑥七重層　豊国炭鉱	図面（青焼）
358	箱５	明治豊国	142	3		炭量計算区域図　縮尺1/5000　②上三尺層　豊国炭鉱	図面（青焼）
359	箱５	明治豊国	142	4		炭量計算区域図　縮尺1/5000　③中三尺層　豊国炭鉱	図面（青焼）
360	箱５	明治豊国	142	5		炭量計算区域図　縮尺1/5000　④三尺層（上層）豊国炭鉱	図面（青焼）
361	箱５	明治豊国	142	6		炭量計算区域図　縮尺1/5000　⑤三尺層（下層）豊国炭鉱	図面（青焼）
362	箱５	明治豊国	142	7		炭量計算区域図　縮尺1/5000　八尺層　豊国炭鉱	図面（青焼）
363	箱５	明治豊国	142	8		炭量計算区域図　縮尺1/5000　⑧八尺層（ゴースケ炭）豊国炭鉱	図面（青焼）
364	箱５	明治豊国	142	9		炭量計算区域図　縮尺1/5000　⑩五尺層　豊国炭鉱	図面（青焼）
365	箱５	明治豊国	142	10		炭量計算区域図　縮尺1/5000　⑨五尺層（二枚炭）　豊国炭鉱	図面（青焼）
366	箱５	明治豊国	142	11		炭量計算区域図　縮尺1/5000　⑪二尺層（上炭）豊国炭鉱	図面（青焼）
367	箱５	明治豊国	142	12	1	炭量計算区域図　縮尺1/5000　⑫二尺層　豊国炭鉱　本図採用	図面（青焼）
368	箱５	明治豊国	142	12	2	炭量計算区域図　縮尺1/5000　⑫二尺層　豊国炭鉱　不採用	図面（青焼）

通番	箱№	ラベル名	番号	枝番	小枝番号	表　　題	形態
369	箱５	明治豊国	142	13		炭量計算区域図　縮尺1/5000　⑬四尺層　豊国炭鉱	図面（青焼）
370	箱５	明治豊国	142	14		炭量計算区域図　縮尺1/5000　⑭一番層　豊国炭鉱	図面（青焼）
371	箱５	明治豊国	142	15		炭量計算区域図　縮尺1/5000　⑮二番層　豊国炭鉱	図面（青焼）
372	箱５	明治豊国	142	16		炭量計算区域図　縮尺1/5000　⑯三番層　豊国炭鉱	図面（青焼）
373	箱５	明治豊国	142	17		炭量計算区域図　縮尺1/5000　四番層　豊国炭鉱	図面（青焼）
374	箱５	明治豊国	142	18		炭量計算区域図　縮尺1/5000　五番層　豊国炭鉱	図面（青焼）
375	箱５	明治豊国	142	19		炭柱調査位置図控 縮尺五千分之一　豊国炭鉱	図面（原図）
376	箱５	明治豊国	142	20		炭層分析炭柱調査位置図控 縮尺五千分之一　豊国炭鉱	図面（原図）
377	箱５	明治豊国	142	21		炭柱図控 豊国炭鉱	黒紐づづり（青焼）
378	箱５	明治豊国	142	22		石炭分析関係資料　豊国炭鉱	紐綴り
379	箱５	明治豊国	142	23		地形図　Ｓ＝１：5000　明治鉱業株式会社 豊国炭鉱 事業団調査	図面（青焼）
380	箱５	明治豊国	142	24		表題の記入無し（仮題）地層断面図「142-23の断面図」	図面（青焼）
381	箱６	明治豊国	143			12田川市川宮涌水池調査報告　昭和27年５月　九州大学　野口　高　助手 山下明夫　助手　夏野 博章	ホッチキス止め（青焼）
382	箱６	明治豊国	144			未処理物件総括表（事業団関係）	紐綴り（青焼）
383	箱６	明治豊国	145			未処理物件総括表	ホッチキス止め（青焼）
384	箱６	明治豊国	146			土木関係未処理物件一覧表	紐綴り（青焼）
385	箱６	明治豊国	147			田川直方線ヒューム管埋設復旧工事実施設計書（明治豊国炭坑）　田川市東区糒字糒橋下流左岸地内	紐綴り
386	箱６	明治豊国	148			横島硬山砂防堤平面図 宮床貴船平面図　（Ｓ＝1/600）	図面（青焼）
387	箱６	明治豊国	149			調査測量設計業務関係「積算のための歩掛書 他に手土木、鉄鋼、契約書関係」	黒紐づづり
388	箱６	明治豊国	150			土地登記簿「袋内に青焼きの登記簿の写が紐でくくられて入っている」	袋入
389	箱６	明治豊国	151			個人所有土地地積図・宅地平面図等「袋に入れられ図面等が大量に入っている」	袋入
390	箱６	明治豊国	152			明治鉱業より個人に売却する土地地積図「袋に入れられ図面等が大量に入っている」	袋入
391	箱６	明治豊国	153			個人所有家屋平面図「袋に入れられ図面等が大量に入っている」	袋入
392	箱６	明治豊国	154			土地交換で譲渡する土地地積図「袋に入れられ図面等が大量に入っている」	袋入
393	箱６	明治豊国	155			復旧工事関係資料「鉱害復旧に関する設計書等 写真入」	ホッチキス止め書類
394	箱６	明治豊国	156			（仮題）　地番地目一覧表「福岡県田川郡糸田町川宮」	ホッチキス止め書類
395	箱６	明治豊国	157			（仮題）　地番地目一覧表	ホッチキス止め書類
396	箱６	明治豊国	158			（仮題）　地番地目一覧表 控	ホッチキス止め書類
397	箱６	明治豊国	159			物品代月替依頼明細書様式 経理課関係「Ｂ６タイプで現在の領収書の様な冊子（記入は無い）」３冊	冊子

※■は、かすれて読めないか、判読できない文字である。
※技番０は、資料を入れていた袋で当時の資料では無い場合がある。
※形態の部分は次に閲覧するときの参考までに目録作成時に記録したもので資料を見たときの状態を記入している。
※これらの資料については、個人情報保護や人権上の配慮・資料保護等のため閲覧の制限及び閲覧不可にする場合があるため、閲覧を希望する場合は九州大学記録資料館 産業経済資料部門に事前に確認すること。
※その他の資料の利用条件(資料の撮影・本に掲載や引用等)については、使用する前に必ず九州大学記録資料館 産業経済資料部門に事前に確認及び許可を取って使用すること。